10代のうちに出逢いたい本～心に残る推し本、投票してみませんか～投票結果

	タイトル	著者	おすすめコメント
1	十二国記シリーズ	小野不由美	特に図南の翼がおすすめです！
	十二国記シリーズ	小野不由美	大人になってから読みましたが、10代の時の自分に読ませてあげたかったと思いました。 10代前半の方には少し難しいかもしれないですが、きっと人生の指針になるような本だと思います。 ファンタジー好きならよりおすすめです！
	十二国記シリーズ	小野不由美	
	月の影影の海	小野不由美	先日、7年ぶりに短編集が出たことでも知られている「十二国記」シリーズの一巻目です。職場の同僚にすすめられて読みましたが、その時、10代の頃に読みたかったなーと強く思ったことをおぼえています。その後に連なるおはなしもきっと読みたくなるシリーズです。
2	星の王子さま	サン＝テグジュペリ	小学校高学年の頃に初めて読みましたが、その頃は正直よくわからず、「外国の有名な作品ってこんな感じなのかぁ」ぐらいな感想でした。 大人になり何度も再読。読むたびに感じ取るものが変わる、とても奥深い作品です。10代の方にぜひ読んでほしい1冊です！
	星の王子さま	サン=テグジュペリ	
	星の王子さま	サン＝テグジュペリ	私自身が高校生の頃に初めて読んで好きだった本です。純粋で、深く、何度も何度も繰り返し読みました。親となり、中学にあがった子どもに「大好きだった本だよ」と大事にしていたその本を見せました。娘も何度も読み、とても気に入ったようなので新品を買ってプレゼントすると、とても喜んでいたのを思い出します。今でもたまに読みたくなる一冊です。一生飽きることのないものではないかと思っています。
3	カラフル	森絵都	自分の人生も、些細な日常も、捉え方が変われば生き方が変わる。そんなことにも気づかせてくれます。
	カラフル	森絵都	黄色い装丁が私の心を奪いました。私が中学生の時に出会った本です。カラフルというタイトルなのに、なぜ黄色なのか？と疑問に思って読んだのがきっかけです。心に響いたのは「誰しも悩みがある」ということ。中学生は子どもと大人の間を生きています。子どもだから、と一括りされることもあれば、子どもじゃないんだから、と一蹴されることもある。中学生だって悩んで当たり前なんだと共感してくれる本でした。
3	こころ	夏目漱石	
	こころ	夏目漱石	純真無垢？な10代に国語の授業とは関係なく読んでいただきたい本です。
3	なんて素敵にジャパネスク	氷室冴子	
	なんて素敵にジャパネスク	氷室冴子	当時、クラスの中でみんなで回しながら氷室冴子さんの本を読んでいました 軽いタッチなので読みやすく敷居の高い古典文学を身近に感じる事が出来ると思います
	エミリの小さな包丁	森沢明夫	小さな包丁で、お料理をするように少しずつ人生を変えていく、人と関わることで自分を取り戻していく。心が温かくなります
	塩狩峠	三浦綾子	最後の藤子さんの絶叫に心震えない人は生き方考え直したほうが良いと思います。
	ヴァイオレット・エヴァーガーデン	暁佳奈	主人公のヴァイオレットが、手紙の代筆の仕事をしながら、人の感情や思いを知り成長していくところが魅力です。自分も大切な人に手紙を書きたくなります。
	この恋は世界でいちばん美しい雨	宇山佳佑	この本に出会ったのは中学の図書室。表紙が綺麗なところに惹かれ、読み始めたところ、中学生の私には美しすぎて読後には感動と幸せでいっぱいになりました。この本を友達に勧めたところ、読後には感動して涙を流していました。この作者の本はどれもお話も表紙も綺麗で、自分だけで留めておくのはもったいないくらいです。。読んでみてほしいです。
	ナニュークたちの星座	雪舟えま	現実とは少し違う不思議な世界なのに、どこか身近に感じられます。「普通」という固定された考え方から離れて別の角度から物事を見ることができ、逃避行のような雰囲気を味わうことができる本です。読む、というより、この世界に触れてみませんか？日常から少し離れて、不思議な世界を気に入ってもらえたら嬉しいです。
	パンツ・プロジェクト	キャット・クラーク	セクシュアリティに悩んでいる10代にぜひ読んで欲しいです。勇気をもらえます。

空想科学読本	柳田理科雄	私はこれで理系に目覚めました。アニメ、マンガ、ゲームなど、2次元の様々な奇天烈現象を科学的に分析する本です。
告白撃	住野よる	恋愛小説に飽きてきたけど住野よるさんが好きだったので「一応」読んでみたらどはまりした小説です。 私個人、告白させられそうになっている(気になったら是非読んでみてください)男と似たような恋愛経験があったので、ものすごく共感しながら読んでいました。 メリーバッドエンドが好きな方におすすめです。
捨てないパン屋の挑戦	井出留美	食品ロスを減らすには、どのような工夫や行動が大切なのか考えさせられる本。SDGsなどの社会問題、国際問題を共に考える本。
世界が青くなったら	武田綾乃	主人公が彼氏のいる大学生ということで、 10代の方は身近な人と重ねて、かつて10代だった方は思い出を辿りながら、読み進めてほしいです。 すると、不思議なような、面白いような、考えさせられるような、なんとも言えない感情でページを捲る手が止まらないと思います！ 伏線も多いので、詳しい内容は読んでからのお楽しみで。 私は初めて読んだときは、ひと晩で一気に読んでしまいました。個人的には、寝る前の自分時間か、西図書館の読書テラスで読むのがおすすめです！
電車で行こう	豊田巧	電車のことがよくわかっておすすめです
南総里見八犬伝	曲亭馬琴	なんでもいいから本が読みたい！と本を読み漁っていた時に出会った一冊です。歴史的な物語なことは知っていたので、少し躊躇しましたが、読んでみるととても面白い！仲間との絆に子供ながら胸を熱くさせました。昔書かれた物語なのに、ストーリーにとても共感でき、一気に最後まで読んでしまいました。難しい文章を分かりやすくまとめてくださっているので、読みやすく、ストーリーに集中できました。歴史的な物語はちょっと難しい…という方でも楽しく読めると思います！本当に10代のうちに出逢っていて良かった！そんな一冊です。
容疑者Xの献身	東野圭吾	ミステリーなのですが、その中に愛情を感じさせる小説でとても面白かったです
きみの存在を意識する	梨屋アリエ	ディスレクシア（読字障害）の少女を始めとした生きづらさを抱える中学生達の短編集。昨今、多様性の中で様々なパーソナリティへの理解が深まってきているが、普通に生活しているだけでは自分でも気づけないパーソナリティもあり、もし自分や近しい人がそのようなパーソナリティを持っていたら、どうやって接したらいいのだろうか。そんな事を「意識」考えるきっかけになる本です。
トマトパスタがはねるなぞをとけ	文:かんちくたかこ	女の子の探究心にワクワクします。 これを読めばトマトパスタが思いっきり食べられそうです。
パスワードは、ひ・み・つ	松原秀行	
パセリ伝説	倉橋燿子	
プロジェクト・ヘイルメアリー	アンディ・ウィアー	
雨（サマセット・モーム全集第15巻）	サマセット・モーム	文学部に通う大学生です。高校生の頃、短編で読みやすいと思い手に取って読み進め、雨が降り続ける陰鬱とした雰囲気と物語がどう転がるかわからないドキドキ感で夢中になった一冊です。時代背景がわかると楽しみやすいので近代まで歴史を学習した人におすすめです。
世界から猫が消えたなら	川村元気	余命宣告を受けた「僕」のもとに悪魔が現れて、この世から何かを消すことで寿命を一日延ばせると提案してきます。 今まで当たり前のようにあったものがなくなった世界で、初めて自分の気持ちに気付いていく「僕」。 死を前にしてこの世から何を消すか決断する「僕」の切ない物語ですが、読み終わった後は、自分の生活や身の回りの人、当たり前にあるものが、かけがえのないものに見えるはずです。
哲学の謎	野矢茂樹	高校1年生のときに、英語の先生に勧められて読みました。哲学ってなんか難しそう、分からん、つまらなそう…って思っている子にぜひ読んもらいたい一冊です！ 身近にある哲学の魅惑的な世界に引き込まれること間違いなし!哲学書を読むではなく、哲学をする！という体験をさせてくれます! 短い対話形式でとても読みやすく、哲学の入り口になる一冊だと思います。
夢をかなえるゾウ1	水野敬也	私はこのままでいいのか、今の状態では良くないと考えているとき、ネットで調べて読んだ本です。行動することの重要性を面白いネタと合わせて教えてくれる本なので、当時もとても読みやすく飽きない本でした。自己啓発本を苦手としている人、人生を変えたい人などにお勧めできる本です。
限りなくシンプルに豊かに暮らす	枡野俊明	今でも自分の人生の中心。 基礎基本を整え常に安心しているため自己肯定感が高いとよく言われた。 周りの男の子達はうわべだけ真似して「高火力」「ロマン」「愛」「魂」とよく叫ぶ世代になった。 「そんな凄いものじゃない」あなたへ。
ブギーポップは笑わない	上遠野浩平	小学生の時は、青い鳥文庫や怪談レストランなどが好きで、行くと真っ先に児童書コーナーに向かって読んでいないシリーズを探すのが図書館でのルーティンでした。中学生になったとき、児童書コーナーの流れでYAの棚を何となく見て、タイトルと表紙の女の子が重なるデザインに惹かれて、とりあえず一冊借りてみたのが「ブギーポップは笑わない」です。ライトノベルは初めてでしたが、高校生という当時の自分にとっては大人な存在の登場人物達の生き様や抱えている想いの深さ、そしてハードボイルドな台詞にすっかり心が掴まれ、図書館に足繁く通って少しづつシリーズを読み進めていました。大人になった今はシリーズ買い揃えて、棚の一番手に取りやすいところに置いています。もう20年以上前の思い出ですが、図書館で初めて手に取った感触は今でも鮮やかに思い出せます。

もものかんづめ	さくらももこ	『もものかんづめ』はさくらももこの初期エッセイ三部作の第一作です！さくらももこの経験した出来事を面白おかしく描いていて、10代のころ何度も繰り返し読んでいた思い出の作品です。「ちびまる子ちゃん」の作者はこんなに面白い人なのか、「ちびまる子ちゃん」のキャラは本当は意外とこんな人だったんだと衝撃を受けました。ぜひ『さるのこしかけ』『たいのおかしら』も併せて読んでみてください！それ以外のエッセイも愉快な話が多くクスッと笑える作品です！
黄金の羅針盤	フィリップ・プルマン	小学校3年生よりハリーポッターをはじめとするハイファンタジーが好きになり、ナルニア国物語・指輪物語に挑戦して敗北した後に読んだ本です。 映画化の折に父が購入し、その蔵書をあさって読みました。歴史もの好きな父の蔵書の中では珍しい部類だったのです。 主人公の少女と自分の年齢が近かったためか大変夢中になって一日足らずで読み切った覚えがあります。そして続きはないのか、ないなら買えとせがみ、断られ、違うシリーズ（『エラゴン』）を買われた苦い思い出でもあります。そういえば結局続きは読んだことがない……。
私とは何か　「個人」から「分人」へ	平野啓一郎	進路選択、自己PRで悩んでいたあの頃に出会えていたら…！ 学校での人間関係や、自分って何だろうという悩みを少し解きほぐしてくれると思います。
舟を編む	三浦しをん	
西の魔女が死んだ	梨木香歩	今いるコミュニティーの中で生きづらさを抱えているすべての人に読んで欲しいです。 わたしは小学生の時にこの本に出会い、西の魔女こと主人公の祖母の言葉の数々にはっとさせられ、自分らしく過ごすヒントをもらいました。 白クマだってサボテンだって誰だって、自分の生きやすい場所を選んでいいんです。 10代になった息子たちにも薦めたいと思っています。
僕はかぐや姫	松村栄子	主人公の裕生は「僕」という一人称を使っている女子高生。 でも別に男になりたいわけじゃない。女でもなく男でもなく、もっと透明な性でありたい。 世間一般から押し付けられる女性性というものに違和感を覚える17歳の気持ちを鋭く切り取った小説。 「私」という一人称に抵抗があった女子高生時代に読んで衝撃を受けた作品。 ページをめくる手がプルプル震えたぐらい。 型にはめられた「女性」になりたくはない。でも、どこに足を着地させたら良いのか分からなくて藻掻いていたあの頃、この小説の中に仲間を見つけた気がした。
夜のピクニック	恩田陸	中学生の時に読んで高校生に憧れたり、恋愛じゃない青春を感じたり、心が豊かになった気がします！
あきらめなかった男　大黒屋光太夫の漂流記	小前亮	江戸時代、船が嵐で大破し漂流し日本を離れアリューシャン列島の島に漂着した大黒屋光太夫たちの実話。 リーダー大黒屋光太夫や船員がどのようにしたら日本の地に戻れるか知恵を絞り、行動を起こしたかが分かりやすく書かれて読みやすいです。現代の様に通信機器も立派な船もなく自分たちの身1つ、仲間との絆で日本に帰国を目指す姿に胸が打たれます。まさか！の連続ですが、光太夫の行動力と意思の強さで難題を解決していく力に脱帽です。 再来年の大河ドラマが同じく漂流した、ジョン万次郎。 近々漂流ブームが来そうな予感。 まずは大黒屋光太夫。 日本人が知っておくべき偉人だと思います。
パンドラの函	太宰治	文庫では「正義と微笑」というお話も収録されており、どちらも青春小説として、当事者世代にぜひ読んでもらいたい作品の一つです。
ローマ人の物語	塩野七生	もともと漠然と歴史が好きだったが、今があるのは様々な出来事の積み重ねであり、出来事ひとつにも多くの人間が関わっていることがわかり、今起きている出来事についての視野が広がった。
逆ソクラテス	伊坂幸太郎	
銀河英雄伝説	田中芳樹	スペースオペラと言えばこれ！宇宙を舞台に熱い死闘を繰り広げる人物たちに涙することも…。 ただ読んでいると、腐った政治の民主主義国家VS優れた指導者のいる専制君主国家として争いであることも見えてきて、一概にどちらが良いとは言えませんが、いろいろと考えさせられます。
指輪物語	J.R.R.トールキン	映画で「ロードオブザリング」を初めて観た時にその面白さに衝撃を受け、小説を一気読みしました。 初めて読んだファンタジー作品で、読書中は空想の世界観に没入できる楽しさを教えてくれました。
支える、支えられる、支え合う	岩波書店	今の時代、ぜひ10代の人達に読んで頂きたい1冊になります。
図書館戦争	有川　浩	テーマは「表現の自由」や「本を守る」といったベースがあることで、当たり前に自由に本を読めることの大切さの理解ができることや、そのなかで恋愛や親子関係、友人関係など周辺も丁寧に描かれており、ボリュームはありますが、あっという間に読めます。
生きるぼくら	原田マハ	主人公に昔の自分や、かつての息子を重ねながら読みました。すれ違いや葛藤がありながらも、生きていく強さを得て行く姿に希望をもらいました。

地獄変	芥川龍之介	中学の国語の教科書に芥川龍之介の『蜜柑』が出ており、授業で先生が「芥川龍之介は説話集から題材を持ってきて短編小説として書き残している」と教えてくれました。小学生の時から平安時代に興味を持っていた私は、まずは彼の所謂「王朝物」から読み始めました。そのうちの一冊が『地獄変』。決して長い小説ではないのに、まるで長編小説を読み終えたかのような重み、また脳裏に鮮やかに情景が思い浮かぶ巧みな表現に惹かれ、30年以上彼のファンであり続けています。
二分間の冒険	岡田淳	知恵と勇気が人生を切り拓くというのはどういうことなのか、を教えてくれます。 特に10代に入りたての方に読んでいただきたいです。
百年の散歩	多和田葉子	ベルリンに実在する10の通りを歩いていく「わたし」の連作小説。通りや街の思いや歴史と触れる、感性を触発される物語。
宝島	スティーヴンスン	冒険といえば宝の地図や無人島での宝探し、誰もが一度は憧れますよね。世界がどこまでも広がっていると信じられる子ども時代にこそ、読んでほしい作品です。
10年後の自分か見えるヤツ1年後の自分も見えないヤツ	落合信彦	落合信彦シリーズ、横澤彪の「仕事が面白くなるシェークスピア」（ないけど）は今も私のバイブルです。
20歳のソウル	中井由梨子	実話に基づくストーリーです。 市船野球部の応援の神曲、 「市船ソウル」を作った浅野大義さんは 20歳という若さでこの世を去ってしまいました 葬儀には市船吹奏楽部の関係者が164人も 集まり「市船ソウル」を演奏します これまで、一生懸命生きてきた浅野さんの姿に 勇気と感動を貰えます！市船ソウルは永遠です！ 船橋市を代表するおすすめ本です
80日間世界一周	ジュール・ベルヌ	世界への憧れが高まる！ドキドキの冒険にチャレンジしたくなる！
アドリブ	佐藤まどか	仲間と切磋琢磨し、自分自身と葛藤しながらも、フルートの技術が上達していく過程や、困難を乗り越えてコンクールにチャレンジしていく姿に、いつの間にか応援しながら読んでいました。10代の主人公の成長に清々しい気持ちになりました。
あなたを閉じこめる「ずるい言葉」	森山至貴	大人や友達に言われた言葉で、モヤモヤしたことはありませんか？ 自分の思い通りに相手を動かそうとしたり、相手を否定したりする「ずるい言葉」を見抜いて、対処できる手がかりが見つかるかもしれません。 10代にこんな本と出会いたかったです。
アンネの日記	アンネ・フランク	ユダヤ人として匿われた家で、日記にキティと名付けて日々のことをみずみずしい感性で綴った文章に夢中になりました。 困難な生活の中でも楽しいことを見つける才能やたくましさに魅入られます。戦争がなくならない現代に、平和を願う気持ちを持ち続ける助けになる名著だと思います。
キッチン	吉本ばなな	自らの意思で初めて触れた文学でした。 それまでは家にあった母の読んでいた本を読むばかり。 キッチンから世界が広がりました。
ソロモンの指輪	コンラート・ローレンツ	高校生の時に読んで、未知の世界をのぞいたような感動でした。
チーズはどこへ消えた？	スペンサー・ジョンソン	人生は、ずーっと同じ状況は続かないものです。予測できない事（挫折やトラブルや環境の変化、失恋など）が起きてしまいます。そのときに、文句ばかり言って動かないのではなく、変化を恐れず、自分が変わらなければと柔軟に、新しい一歩を踏み出すことが大切だと教えてくれる本です。
デミアン	ヘッセ	よんで受けた衝撃はいまも忘れられない 世界はひとつじゃない！
なりたて中学生	ひこ田中	小学6年生の主人公が、引っ越しにより学区が変わってしまい小学校の友達と一緒の中学に通うことができなくなる。不安いっぱいなか中学生活をスタートさせるストーリー。中学受験する子も増えて、小学校から中学校の切り替わりが人間関係の大きな転機となる子が増えていると思うので、ぜひ読んでほしい。不本意な進路でも行った先で新しい出会いがあり、新しい自分を発見して行くきっかけにできる。そう思ってもらえるのでは。 初級編・中級編・上級編どれも面白いのでおすすめです。
ふしぎな図書館	村上春樹	10代のみなさんに村上春樹ワールドを知ってもらい、ぜひ楽しんでいただきたい！
ぼくがゆびをぱちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集	斉藤倫	大人が読んでも良い本でした。「ゆびをぱちんとならしたみたいに」すぐにおとなになってしまう前に読んでほしい！
ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレンディみかこ	数年前の本なので、大人になってから図書室で借りて読みました。 学生の頃に読みたかったなと思いましたが、大人でも十分良かったので、思わず本屋で購入しました。
むこう岸	安田夏菜	視野を広げてくれる本です。

モモ	ミヒャエル・エンデ	10代のうちは、女の子の不思議な冒険物語として読んでください。 その後、生きていくうちに「不思議」の答えがわかってきます。 読み終わってからも、お楽しみが続きます。
ライオンと魔女（ナルニア国物語）	c.s.ルイス	いつ出会ってもいいけれど、やっぱり本には出会い時があると思う。 この本に、若い時出会えてたら、なにかが変わったかなぁとか。あの時に読んでいれば！とか。 大人になって読むと旬を逃した気になることがある。特に、ファンタジーは。 ナルニア国物語は、全7巻。「ライオンと魔女」を渡されたのはいつだったか忘れてしまったけど、岩波のハードカバー本で、小学生の間、続きを1冊ずつクリスマスや誕生日に買って貰っていた。 このシリーズは、キリスト教の影響を強く受けているし、書かれたのが古いからちょっと今と合わないところもある。でも、悪い魔女と正義のライオンの戦い。フォーンのタムナスさんにビーバー夫妻。おいしいけど食べたらキケンなプリン。 なにより、衣装だんすの奥が別世界につながっているなんて！ 嬉しいことにいまでも、ちょっとワクワクがよみがえるすごい本だ。 最近は、いろんな出版社から出ているので、自分の好みのイラストや訳を選び放題だし、ハードカバーから文庫まで選び放題です。 ぜひ、10代の時に、一度は手に取ってもらいたいなぁと思います。
仮装集団	山崎豊子	全ての組織には思惑がある。 山崎豊子の「仮装集団」は、長編小説「白い巨塔」「華麗なる一族」といった映画化・テレビドラマ化された有名作と比べ、知名度はだいぶ劣っているだろう。一度も映像化されたことが無いからだ。 しかしながら、この作品は社会派小説というだけでなく、ミステリー小説としても面白い。読中の没入感は他の有名作に引けを取らない。 なのに山崎豊子さんの長編小説で映像化されていないのは今作と、絶筆作品となった未完の「約束の海」だけだ。 平成25年に亡くなられた後に、彼女の他の長編小説は何度も映像化された。なのに本作が作後60年たっても映像化されていないのはなぜか。10代の皆さんに、そこにある思惑をぜひとも感じ取ってもらいたい。
幻獣ムベンベを追え！	高野秀行	いるのか？いないのか？ いや、いる！
高校生活の強化書	西岡　壱誠	高校生活のまつわるあれこれの、最適な指南書ではないかと思います！
時間・空間・重力：相対論的世界への旅	J. A. Wheeler	まさに自分が「10代のころに出会いたかったな」と思いながら手に取った本です。残念ながら私の10代にはまだ出版されていなかったけれど、もし読んでいたら、物理をもっと好きになって専攻していたかもしれない。90年代初頭の本なので重力波はまだ検出されていないし、最新の物理ではない。でも時空のことを知りたい子どもが一般相対論の入り口として楽しく読むのにいまでも良い本なのではないかと思います。大人が読んでも楽しい。もう書店では手に入らないようですが、なんと船橋市図書館所蔵です！お薦め。
人はなんで生きるか	トルストイ	この本に収録されている短編たちは、心の片隅に置いておくといつか何かを選択する折に、明るい方へ、行き詰まらない方へと歩んでゆく力になってくれるのでは、、と思います。
成瀬は天下を取りにいく	宮島未奈	中学時代引きこもっていた息子の大推し本です。 主人公の破天荒で自由な生き方に背中を押されて、外の世界に飛びだすきっかけをくれました。続編も面白い！
線は、僕を描く	砥上裕將	突然両親を事故で亡くして孤独になった青年が水墨画を通じて数々の出会いを経験し、成長していく物語です。この本の続編もあわせて読んでもらいたいです。
汝、星のごとく	凪良ゆう	本屋大賞を受賞。高校生の2人の出会い。甘くせつない恋物語。今度映画になりますね。この作品は切なくて苦しい結末を迎えますが、続編で心が救われるので、続編もぜひ一読してほしいです。
二つの旅の終わりに	エイダン・チェンバーズ	30年ちかく前の作品ですが、今読んでも心がグッと掴まれるすごい本です！現代と、第二次世界大戦の時代が交錯するストーリーで、ヨーロッパに生きる少年のリアルな姿を通し、生きるとは、性のこと、本当にたくさんのことを受け取れます。若いうちにぜひぜひ読んでほしい本です！
日本のヤバい女の子	はらだ有彩	日本の昔話や古い物語の中に出てくる女の子をイラスト入りで紹介している本です。 古典の中の女の子達が、すぐ近くで生きているように感じられてワクワクします。古典が苦手な人も、読み終わったら古典が少し好きになるかもしれません。 10代の人達にぜひ読んでもらいたい一冊です。
武器としての決断思考	瀧本哲史	自分の頭で考えて、自分なりの答えを出す。AIがない時代に書かれた本だけど、何でもチャッピー に相談できる今だからこそ若い人に読んでほしい。
羊と鋼の森	宮下奈都	一人の青年の成長を暖かな眼差しで見つめるような小説、ピアノの調律の仕事に出会い、回りの人々とかかわりながら、成長していく姿がみずみずしい文章で描かれています。 映画化され、DVDもあります。映像も音楽も素敵です。
羊をめぐる冒険	村上春樹	
知と愛	ヘッセ	
二年間の休暇	ジュール・ベルヌ	子どものころ好きすぎて枕にして寝ていました。夢の中で冒険していました?
坊っちゃん	夏目漱石	自分の気持ちのままに、真っ直ぐ生きていくことなんてできない。けれど、坊っちゃんのように生きていけたら、気持ちいいだろうな、というのが中学生時代に初めて読んだときの感想。
房総の民話	高橋在久/編	郷土に対して、愛着が深まりました。 もっといろいろ深く知りたくなりました。